

データベースサポート

OpenLM Ver.21 にアップグレードして OpenLM Identity Serviceと統合する場合は、次のデータベースを個別に必要とすることに注意してください。

- OpenLM Server
- Identity Service
- Directory Synchronization Service

最も信頼性が高く、パフォーマンスの高いデータベースで、データに常にアクセスできるようにする必要があります。このため、以下のデータベースを推奨します。

- MS SQL Server
- MySQL Server
- Mariadb

上記のいずれかを選択できますが、アップグレードを開始する前にデータベースのバージョン番号を確認し、OpenLM と互換性があることを確認します。

MS SQL Server:

バージョン2012, 2014, 2016, 2017, 2019が検証済みで、サポートされています。

最適化には[ここ](#)を確認してください。

更に:

- 照合をケースセンシティブ(**CS**)に設定
- Windows認証ではなくSQL Server認証ユーザーが推奨されます
- ユーザーがデータベースを読み書き変更できる許可があるか確認してください (db_owner)

MYSQL Server:

MySQL 8の使用が推奨されます。

1. このDB作成スクリプトをご使用ください

```
CREATE SCHEMA `openlm_database_name` DEFAULT CHARACTER SET utf8mb4; COLLATE utf8mb4_bin ;
```

2. 空のデータベースで次のスクリプトを実行してください

```
SET SQL_SAFE_UPDATES = 0
```

最適化には[ここ](#)を確認してください

MariaDB:

MariaDB Server 10.5 (現在安定したバージョンで検証済み)

新しいバージョンは別々に検証されなければなりません。